



質・量ともに充実した実習。体系的に深く学べる講義。

日本で唯一の実践に強い助産師のための専門職大学院です。

# 助産研究科

助産専攻(専門職学位課程)

助産師を育成する **助産基礎分野**

助産教育者を育成する **助産教育分野**

天使大学大学院助産研究科は、カトリックの教育機関として「愛をとおして真理へ」を建学の理念とし、キリスト教的人間観、価値観および世界観に基づいて、専門職助産師を育成しています。

## 「助産師教育における将来ビジョン2015」を充足する教育

ビジョン①	助産師教育期間は、看護基礎教育の基盤の上に2年とする。
ビジョン②	学生の実践能力を向上できる実習環境を確保する。
ビジョン③	助産師教育の質保証に貢献できる教育者の能力向上を促進する。

本学では、全国助産師教育協議会が策定した上記3つの「将来ビジョン」を満たすカリキュラムを2008年以降すでに編成しており、充実した実習で「理論」と「実践」をつなぐ教育を行っています。

また、助産専門職大学院として、助産領域の**分野別認証評価「適合」**を、2009年・2014年・2019年に**日本助産評価機構**から受けています。



## 教育課程の特色

- ◇少人数制、院生と教員による双方向教育
- ◇実践例に基づく教育
- ◇メンターシップ<sup>\*1</sup>とプリセプターシップ<sup>\*2</sup>による教育

※1 メンターシップ: メンターとは「よき助言者」の意味。担当教員が数名の院生を入学から修了まで継続して受け持ち、深くかかわることにより院生の成長をサポートし、学習・生活に関する相談役を引き受けます。(担当: 専任教員)

※2 プリセプターシップ: プリセプターとは、実習期間中に、実践の場で指導者として助産師の役割モデルとなり、実習中の院生が助産師として成長できるよう、主として臨床に関する相談を受け持ちます。(担当: 臨床指導者・実習指導教員・臨床専任教員・専任教員)

## 専門職大学院とは

2003年度に創設された大学院制度です。「研究者の養成」に重点がおかれる従来の大学院とは異なり、**専門職大学院では「高度で専門的な職業能力を持った実務家の養成」に特化した教育を行います。**

天使大学では、わが国の母子保健水準に対応する高いレベルの助産実践に備え、助産教育は大学院で行うこととし、2004年に日本初の助産専門職大学院である助産研究科を開設しました。

専門職大学院の課程を修了すると**授与される学位は専門職学位**とされ、本研究科を修了すると「**助産修士(専門職)**」が授与されます。

## 教育目標

- (1) 女性に優しい自然出産を自律して医療機関や地域で実践するために、正常経過の診断およびケア、正常からの逸脱の判断およびケアができる能力の育成
- (2) 科学的根拠の明らかにされている手段を、ケアの質の向上に応用する力の育成
- (3) 助産管理ならびに助産師教育の仕組みの理解、助産チームおよび多職種との連携・調整能力の育成
- (4) 子育て支援について助産師の役割を明確化し、具体的な援助が行える、また、子育てにかかわる他領域の専門家の役割を理解し、ネットワークづくりを実践する基礎的能力の育成
- (5) 性と生殖に関する倫理を踏まえ、思春期を中心とした性教育プログラムを開発し、性の健康相談を実践する基礎的能力の育成
- (6) ライフステージ各期の女性のリプロダクティブ・ヘルスの増進を図るために、相談、教育、援助活動を実践する基礎的能力の育成
- (7) 地域母子保健活動を多職種と連携・協働しながら主体的に実践する基本的能力、ならびに政策化のプロセスを理解できる基礎的能力の育成
- (8) 国内外の母子保健活動を理解し、グローバルな視野をもって発展途上国の助産活動に貢献する基礎的能力の育成

## (9) [助産教育分野]

優れた助産師を育成するために、教育機関ならびに臨床現場において、助産師を目指す学修者に対して、以下の項目について基本的理解を醸成させ、教育・指導できる能力の育成

- 1 助産・看護における教育課程の編成・実施に関する計画の立案
- 2 教授・学修の理論を踏まえた教授学修法の展開
- 3 評価理論を踏まえた学修目標の達成の評価
- 4 教育機関の運営・評価についての基本的理解
- 5 理論に基づく学修を実践に向けて統合できる教育・指導
- 6 変動する社会のニーズに合わせた教育変革の推進

助産師の仕事は「女性の傍らにあって、**生命を育み守ること**」。

この職業を強い決意で選んだ方々に**集まっていたきたいと願っています**。



助産研究科長  
本宿 美砂子

高度専門職助産師の働く場は多様です。助産師には出産のみではなく、実際にはもっと深く広い役割が求められています。妊娠・出産・産褥期の女性や新生児のケアはもとより、思春期から中高年期にわたる女性のライフステージ全般の性と生殖、不妊や遺伝に関する健康教育・相談、カウンセリングなど、広い役割が期待されています。女性の多様な価値観を尊重し、それぞれの女性にとって「最良で快適な出産方法」を選択するために必要な情報を提供することもまた、重要な仕事となっています。

修了生は計323名。助産所の開業や勤務などの自律した助産活動、さらに発展途上国での活動など、多様な活動を展開しています。また、医療機関とその中の助産師外来や院内助産所など助産師が中心となり妊産褥期のケアを担う場でも活躍しています。

「助産教育分野」では、旧来の1年課程にはなかった、2年課程の中で体系化された“助産学”を、日常のさまざまな助産ケアの中の理論・根拠を含めてあらためて学び直します。その上で、教育者・指導者にとっての対象者である学生や新人などの“対象理解”の上に、個々の学生を教授する教育の諸理論を学びます。

助産教育分野の修了生の4割が大学院・大学などの教育機関で、4割が臨床現場で後輩助産師の育成にあたり、2割が管理職として、理論に基づいた質の高い助産ケアを教える役割を果たしています。

## 教員の紹介

教員名 主な担当科目	専任教員	臨床専任教員	兼任教員	客員教授
研究科長 本宿 美砂子 教授 助産学概論 助産管理論Ⅰ 助産師教育方法論 教育概論 教育評価演習	三浦 恵津子 講師 健康教育論Ⅱ 助産管理論Ⅰ ハイリスク助産学Ⅱ・演習 ウイメンズヘルスⅠ・Ⅱ・演習	高室 典子 教授 健康教育論Ⅰ 独立助産実践概論 独立助産演習	進藤 正信 教授 女性のフィジカルイグザミネーション 高木 廣文 教授 助産研究法Ⅱ	近藤 潤子 教授 助産学概論 助産哲学・倫理Ⅰ・Ⅱ 国際助産学Ⅰ・Ⅱ 教育概論
今崎 裕子 教授 助産女性学 助産研究法 ハイリスク助産学Ⅰ・演習 子育て支援論Ⅰ・Ⅱ・演習	長田 雅子 助教 マタニティサイクル助産ケアⅠ・Ⅱ・Ⅲ マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅰ 性教育Ⅰ・Ⅱ・演習	宮下 美代子 教授 マタニティサイクル独立助産実習	中田 かおり 教授 マタニティサイクル助産ケアⅠ	
津田 万寿美 教授 出産の文化 助産カウンセリング 母子保健行政・財政論 国際助産学Ⅰ・Ⅱ	勝山 千勢 助教 マタニティサイクル助産ケアⅠ・Ⅱ・Ⅲ マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅰ 国際助産学Ⅱ	山本 詩子 教授 助産管理論Ⅱ マタニティサイクル独立助産実習	堀井 泰明 教授 助産哲学・倫理Ⅰ	
	杉田 樹美 助教 マタニティサイクル助産ケアⅠ・Ⅱ・Ⅲ マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅰ		山口 敦子 教授 妊産褥婦乳幼児の栄養	

生まれるいのちを支える仕事  
女性の生涯に寄り添う仕事

# 助産基礎分野

〈修業年限〉2年 〈学位〉助産修士(専門職)  
〈入学定員〉30名 〈取得資格〉助産師国家試験受験資格  
〈修了に要する単位〉56単位

助産師の資格を取得すること、および助産の専門職業人に必要な、高度な助産実践の能力を修得するコースです。  
看護師の資格を持つ方(または取得見込みの方)が対象です。



## 5つの特長

**1 助産所を含む、計20単位の實習、43例を超える取り扱い事例数**

2年間で「20単位」の学外實習が用意されています。1年次の病院實習では専任教員に加え、實習指導教員を實習の場に配置。實習施設ごとに複数の教員が(必要時には)24時間体制でサポートし、實習時の宿泊費の補助なども行っています。

保健師助産師看護師学校養成所指定規則(以下、指定規則)で「11単位」の「助産学實習」を、助産研究科では「20単位」で履修します。また、分娩の取り扱い数についても指定規則が「10例程度」のところを、分娩介助13例以上に加え、妊婦健診から新生児期の母子ケアまで合計「43例以上」の取り扱い事例数を實習に組み入れ、質・量ともに充実した實習を行うことができます。

内容	事例数	2019年度修了生平均
妊婦健診・保健指導	15例以上	35例
出産期ケア・分娩介助	13例以上	12例
産褥・新生児期の母子ケア	15例以上	16+4(家庭訪問)例
合計	43例以上	67例

**2 助産師教育の世界基準(18カ月以上)を満たした、実践能力の育成を重視した2年の教育課程**

国際助産師連盟(ICM)は、2011年の南アフリカ大会において、「助産師教育の世界基準」として看護教育修了後の助産師基礎教育の期間を「18カ月以上」とし、「実践能力」を重視することを採択しました。助産研究科の修業年限は「2年間(24カ月)」。

また、専門職大学院として「実践能力を重視」したカリキュラムを組み、この世界基準を十分満たしていると言えます。

**3 2年課程にしかできない、助産を深く丁寧に学ぶということ**

指定規則では「28単位」を修得すれば助産師国家試験の受験資格が得られますが、助産研究科はその「2倍」の「56単位」を修了要件としています。単位数が多い理由は、従来「助産学概論」に一括されている「倫理・国際・教育」といったテーマを「助産哲学・倫理」「国際助産学」「助産師教育論」としてそれぞれ深く学ぶためです。1年間の助産師教育課程では少ない時間で行っている内容を、助産研究科では丁寧に深く学修します。

**4 先輩、院生にいつでも相談できる教育環境**

助産研究科は、日本で唯一の「助産師養成のための専門職大学院」であると同時に、日本で唯一の「助産教育者のための養成機関」でもあります。「助産基礎分野」には、全国各地から助産師のエキスパートを目指す学生が集まり、「助産教育分野」には病院などの第一線で活躍してきた助産師が入学します。そんな経験豊富な助産教育分野の大学院生に対し「助産の現場」のことをいつでも聞くことができる環境は、他にはない魅力です。また、2年課程である本研究科は、1年次の時は「先輩」がいて、實習や学習方法について気軽に相談できるのも心強いところです。

**5 関心の強い分野に、一步踏み出す**

女性の生涯を通じた性と生殖の健康支援の担い手としての助産師の役割を学ぶため、2年次に「発展・展開科目」があり、学生は「子育て支援」「性教育」「ウィメンズヘルス」「国際助産」の4つのテーマから選択履修します。

### カリキュラム



※■印は選択科目

### 年次教育計画(2019年度実績)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1年次	入学式・オリエンテーション	講義・演習	オリエンテーション	マタニティサイクル助産ケア基礎実習(6単位)	講義・演習	補講・試験期間	夏期休暇	講義・演習	マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅰ(6単位)	冬期休暇	マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅰ(6単位)	講義・演習	試験期間	春期休暇
2年次	講義・演習	マタニティサイクル独立助産実習(6単位)	ハイリスク助産演習・健康教育論Ⅱ	マタニティサイクル独立助産実習(6単位)	補講・試験期間	夏期休暇	授業(発展・展開科目)	マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅱ(2単位)	冬期休暇	授業(発展・展開科目)	国家試験	学位記授与式		

## 実習科目

専門職大学院ならではの充実した実習内容。  
豊富な臨床経験と、それをフィードバックする学びの場が自律した助産師を育てます。

### 1年次前期 (6単位) マタニティサイクル 助産ケア基礎実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

#### 基礎実習で、助産の基礎をしっかり身に付けます。

妊娠期、出産期、産褥・新生児期に分けて実習を行います。対象をよく理解した上で、それぞれの期に応じて必要な情報を提供する「保健相談」を計画、実施します。また、分娩介助や褥婦と新生児のケアを行い、助産における知識と技術の基本を学びます。

- 妊娠期…保健相談8～10例
- 出産期…分娩介助3例以上、出産直後の新生児ケア2例
- 産褥期／新生児期…母子のアセスメントとケア2例

#### 学内カンファレンスを行い、学びを深めます。

妊産褥婦のケアを立案し、実践する傍ら、学内カンファレンスを行います。それぞれの事例を持ちよって知識や体験を共有し、ディスカッションしながら学びを深めます。

#### 実習施設 (2019年度)

##### 病院

- 天使病院(札幌市)
- 札幌東豊病院(札幌市)
- 市立札幌病院(札幌市)
- 釧路赤十字病院(釧路市)
- 手稲溪仁会病院(札幌市)
- 砂川市立病院(砂川市)

### 1年次後期 (6単位) マタニティサイクル 助産ケア統合実習Ⅰ

#### 後期の実習で、基礎実習で学んだ知識と技術をさらに深めます。

基礎実習で各期に分けて実習した内容について、統合実習では、出産期、産褥／新生児期における複数の対象者を継続して受け持つことで、基礎実習で学んだ助産の知識と技術を統合し、さらに家族を含めた対象理解から助産ケアの学びを深めます。

- 出産期…6例
- 産褥期／新生児期…3例

#### 継続実習で一事例を継続的・総合的に理解し、助産ケアを実践する能力を養います。

統合実習では、妊娠から出産、入院中の産褥・新生児ケア、家庭訪問、産後1カ月までの継続実習も行います。対象を継続的・総合的に理解し、助産ケアを実践する能力を養うとともに、助産師の役割や専門職業人としての倫理観について統合的に学びます。

- 妊娠期～産褥1カ月までの継続ケース…1例

#### 実習施設 (2019年度)

##### 病院

- 天使病院(札幌市)
- 札幌東豊病院(札幌市)
- 帯広厚生病院(帯広市)
- 帯広協会病院(帯広市)
- 日鋼記念病院(室蘭市)
- 釧路赤十字病院(釧路市)

### 2年次前期 (6単位) マタニティサイクル 独立助産実習

#### 開業助産所で「自然なお産」を学びます。

助産所の助産師の持つ卓越した助産技術をはじめ、妊婦さんと深く関わりながら「自然なお産」について実践的に学びます。妊娠から出産、産褥までを連続したプロセスとしてとらえ、身体の自然な力や個性性を大切に助産ケアを学ぶ実習です。

- 妊娠期～産褥期…3例以上

#### 6週間泊まり込むことで「助産所のリアル」が見えてきます。

的確な判断力やリスクマネジメント(緊急時の医療との連携など)、優れた観察力が必要となる助産所での仕事を間近で見て、助産師の独立性、自律性、専門職としての倫理的責任などについて考察します。開業助産所の管理・運営・経営、さらに地域貢献にいたるまで、総合的に学びます。

#### 実習施設 (2019年度)

##### 助産所

- ファン助産院(東京都)
- 山本助産院(神奈川県)
- みやした助産院(神奈川県)
- 助産院さくらバース(神奈川県)
- とわ助産院(神奈川県)

### 2年次後期 (2単位) マタニティサイクル 助産ケア統合実習Ⅱ

#### 母子の「複数受け持ち」で、これまでの学びを統合します。

1対1だったこれまでの実習とは違い、一度に複数の母子を受け持ちます。それにより生じる複雑な状況下において、優先順位を考えながら個性性に即した適切な助産ケアをする能力を養います。これまで学んできたことのすべてを統合しながら自ら判断し、実践する最後の実習です。

#### 臨床現場における自分の役割を考えます。

助産チームのリーダーに付いてチーム内の業務を円滑に進める「リーダー役割」を学ぶ一方、チームの「メンバー役割」についても考えます。また、カンファレンスなどの連絡業務、記録の大切さを理解し、職業人となる前に自らの課題を明らかにします。

#### 実習施設 (2019年度)

##### 病院

- 天使病院(札幌市)
- 日鋼記念病院(室蘭市)
- 釧路赤十字病院(釧路市)

## 発展・展開科目

女性を知り、母を知り、いのちを知る。助産師という仕事の奥深さに触れる学びの場です。  
2年次に4つのテーマから1つを選択します。

### 子育て支援

#### 子育ての実際を見て、助産師にできることを考える。妊娠から関わった母子を継続的に支援します。

1年次に妊娠から産後1カ月まで関わった母子を10カ月経ってから訪ね、実際に子育てをしてみて感じた悩みや喜びについて話を聞き、助産師の子育て支援における役割について考察します。妊娠中から子育て期間まで継続して関われるのは、2年間のカリキュラムならではの。長期間にわたってより深く相手を理解することで、出産後の継続した支援が効果的にいきます。また、子育て支援センターの活動に参加し、行政や多職種との連携についても学びます。



### 性教育

#### 中高生への性教育授業を自分たちで企画する。「教える」ことを学ぶ中から、たくさんの発見があります。

中学生、高校生、それぞれの年齢に合わせて内容をコーディネートしながら、自分たちで企画・立案した性教育授業を行います。思春期の特徴的な考え方や行動、価値観を理解した上でニーズに合った情報を「ピアカウンセリング(同じ立場の者同士のカウンセリング)」の手法を用いて提供します。助産師としてのちと性に対する問題にどう関わっていくかを、授業づくりを通して考えを深めます。



### ウィメンズヘルス

#### 現代女性が直面しているさまざまな問題。その性と心の事象について幅広く学びます。

出生前診断や不妊治療、ドメスティック・バイオレンス、思春期や更年期特有のメンタルヘルス。女性が生涯で直面するさまざまな性と心の問題について、幅広く学びながら理解を深めます。不妊に悩む女性のための情報室に参加したり、更年期や思春期の治療を行う外来での関わりを学ぶ機会があります。それぞれの問題を身近なこととしてとらえ、助産ケアについて考える科目です。

##### 出生前診断

胎児の異常の有無の判定を主な目的として、胎児超音波検査、胎児心音測定など、さまざまな方法で妊娠中に実施する検査のこと。出生前診断によって胎児に異常が見つかった場合、「障がい児を産み一生育てる立場に置かれた女性の中絶を選択する権利」と「障がいを持つもの言わぬ子どもの生きる権利」との二律背反など、さまざまな生命倫理的な問題を学びます。

##### 不妊治療

「不妊症」とは、何らかの治療をしないと、それ以降自然に妊娠する可能性がほとんどない状態の男女をいい、そのようなふたりを妊娠に導くよう治療するのが「不妊治療」です。「排卵と受精を補助する方法」から体外受精、顕微授精などの「人工授精」まで治療法はさまざまあります。助産師は多職種と連携しながら、不妊治療を受けるカップルの不安を取り除いたり、妊娠後の健全な出産、育児、その人らしい人生の選択ができるように支援します。

### 国際助産

#### 海外での助産の現状や母子保健活動について学びます。

開発途上国をはじめ海外の母子保健活動の状況や国際機関の関わり、日本の国際援助など海外のお産や健康問題について学びます。またその一環として2019年度はベトナム・ハノイへ行き、現地で行われている母子ケアを学びながら対象理解を深め、その特殊性や日本との違いについて考察しました。妊婦健診や産褥ケア、新生児ケア、乳幼児健診や予防接種などをハノイの助産師とともに担当し、「よりよい助産とは何か」について考えました。



[ 就職・国家試験 ]

就職率



国家試験合格率(助産師)



就職先(2018・2019年度)

- |  |  |
|--|--|
| <p><b>北海道</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市立札幌病院</li> <li>北海道大学病院</li> <li>天使病院</li> <li>KKR札幌医療センター</li> <li>札幌東豊病院</li> <li>北海道勤労者医療協会</li> <li>日鋼記念病院</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>釧路赤十字病院</li> <li>旭川医科大学病院</li> <li>旭川厚生病院</li> <li>砂川市立病院</li> <li>JCHO北海道病院</li> <li>札幌白石産科婦人科病院</li> <li>札幌徳洲会病院</li> </ul> |
| <p><b>東北</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>寿泉堂総合病院(福島県)</li> <li>竹田総合病院(福島県)</li> </ul>   |  |
| <p><b>関東</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京女子医科大学病院(東京都)</li> <li>順天堂大学医学部附属順天堂医院(東京都)</li> <li>聖母病院(東京都)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>湘南藤沢徳洲会病院(神奈川県)</li> <li>済生会横浜市東部病院(神奈川県)</li> </ul>  |
| <p><b>中部</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>富山県立中央病院(富山県)</li> <li>石川県立中央病院(石川県)</li> </ul>  |  |
| <p><b>九州</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>聖マリア病院(福岡県)</li> </ul>   |  |

# 助産教育分野

〈修業年限〉1年6カ月 〈入学定員〉10名  
 〈学位〉助産修士(専門職) 〈修了に要する単位〉45単位

5年以上の臨床経験を持つ助産師を対象に、自らの助産学と助産実践を再点検し、助産教育者に必要な教育計画の立案、授業や臨床指導の理論などの学修ならびに教授・臨床指導実習を通して、教育・指導の基本的な能力を養うことを目的としています。



[ 4つの特長 ]

1

後進の助産師を教育・指導する大切な役割を果たす力を育成

助産教育分野では、自らの助産観と助産実践を再確認するとともに「助産・看護教育科目」を12科目設け、助産師教育の専門家に必要な「助産師育成のためのカリキュラムの作成」や「学習・評価の理論」、「授業・臨床指導の演習・実習」などを体系的に学び、後進の助産師を教育・指導する能力を養成します。修了生は、「助産修士(専門職)」の学位を持つ助産師教育の専門家として、臨床現場や助産師養成施設で活躍しています。

2

助産基礎分野大学院生とのかかわりが生きた教材に

助産基礎分野大学院生と合同の授業があり、院生学習室で日常的に接する環境にあるため、助産学生が学内でどのように学び、どのような気持ちで実習に臨むかを知ることができます。また、助産基礎分野大学院生からの質問や相談も多く、助産教育のスキルを上げる実践的な機会となります。同時に助産の教員がどのような教育観を持って学生支援を行っているかを身近で学ぶこともできます。

3

「開業助産所」での実習

開業助産所での6単位の「独立助産実習」は、従来の助産師教育にはなかった実習です。改めて女性に寄り添い、女性の身体に備わった自然な力を最大限に引き出し、助産師本来の仕事に向き合う経験を持って、後輩育成に臨みます。

4

「1年6カ月」で助産修士(専門職)の学位を取得

助産師としての実務経験を十分に積んだ方に対する教育課程のため、「1年6カ月」の期間で「助産修士(専門職)」の学位を取得することができます。助産教育のスキルを向上させた上で、通常の大学院よりも半年早く現場に戻れます。

[ 教員インタビュー ]

なぜ「助産教育」という学びが必要なのでしょう。

助産師として優れた技術を持っていれば良い助産師教育者でありうるでしょうか。

助産師教員は、助産師になることを志した後継者に、助産師に必要な知と技(わざ)と心を、その一人ひとりの個性に合わせて教育をすることが求められています。

そのためには、助産師として十全な実践能力を持っていることは当然ですが、さらに教育職としての学びが必要です。

卒業時に到達すべき能力を入学時から卒業時に向かって合理的に企画するカリキュラムの作成過程、

教授学習の理論や評価の学び、授業の立案や臨床指導の実習、教育機関の運営・管理など、助産師教員・臨床指導者のための教育課程を計画しました。

専門職助産師の役割責務として後継者の育成を積極的に行い助産師の専門的能力の伝達・習得のための支援をすることがあげられています。

臨床経験を積まれた助産師の方がたが、獲得された助産実践能力に教育能力を加えることによって助産専門職の質と量の向上に寄与することになるので

はないでしょうか。



助産研究科 客員教授  
近藤 潤子



妊娠期演習(マタニティサイクル助産ケアI)



母親学級の演習(健康教育論II)

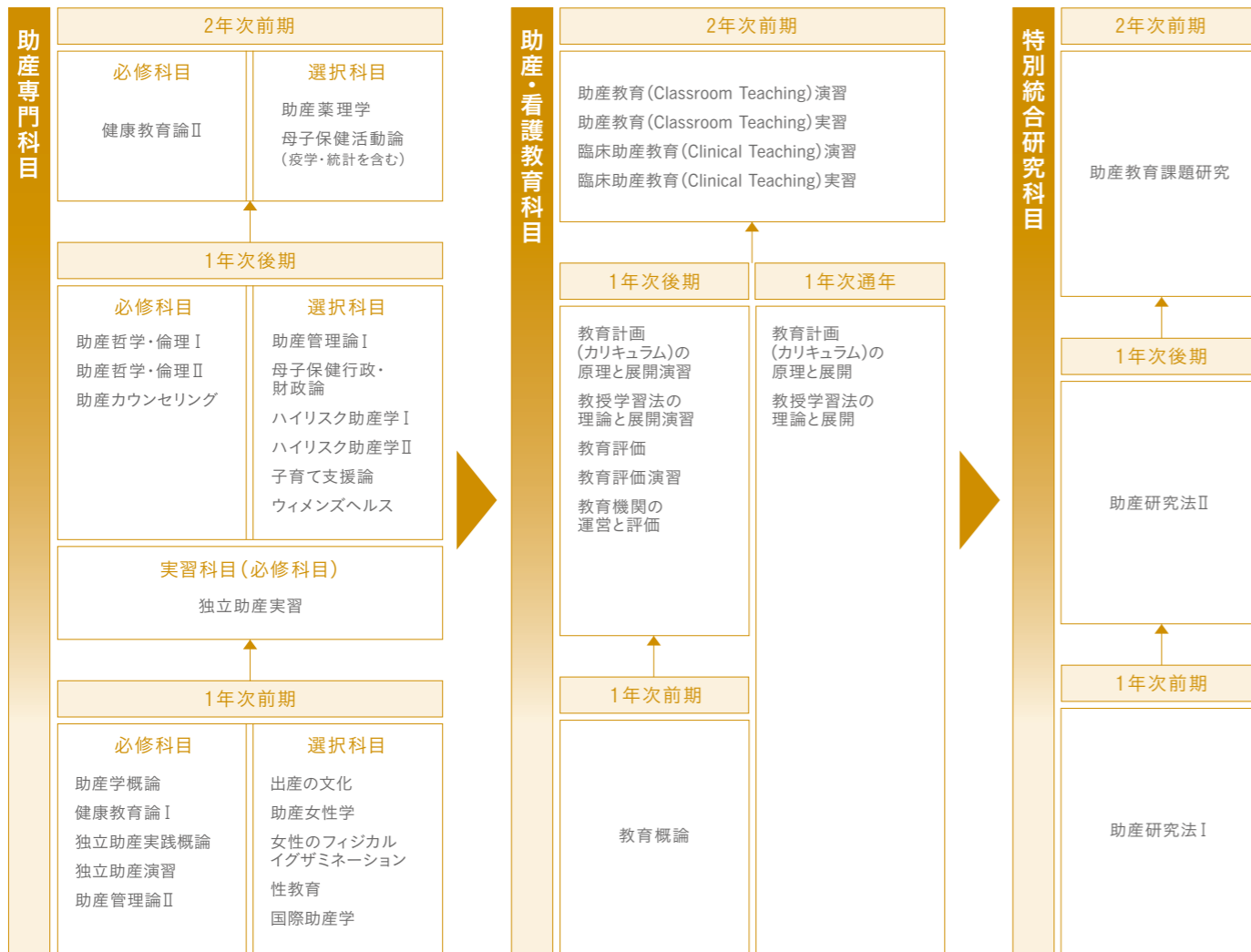


講義(助産学概論)



分娩介助演習(マタニティサイクル助産ケアII)

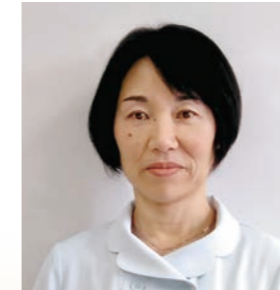
■ カリキュラム



[ 修了生インタビュー ]

助産師教育の場で活躍している修了生が“天使だからこそ学べたこと”を語ってくれました。

社会経験を経て学び直すからこそ、問題意識を持って研究できました。



亀田医療技術専門学校  
助産学科 勤務(教員)  
助産研究科 助産教育分野  
2011年9月修了

天使大学大学院助産研究科を志望したのは、「大卒の新人を教育するには自分も大学経験があったほうがいい」「もっと知識を身に付けて医師と対等に話したい」と考えたからです。助産師として総合病院や診療所で14年勤めた頃でした。上司も「行きたいと思ったときにチャンス」と背中を押してくれたので、退職して千葉県から札幌に行きました。

授業はどれも楽しく、1つの事象を多方面から考察することで、それまでの自分になかった見方ができるようになり、視野が大きく広がりました。「教育計画(カリキュラム)の原理と展開演習」や「教育評価」は特に現場で役立つ科目で、学んだ者同士、共通の言葉で語れるようになりました。そして6週間の「独立助産実習」では、改めて基礎をしっかりと学び、エビデンスに基づいて実践すること、五感でケアすることの大切さを再認識できました。また、同級生や講師、実習先の方々など、新たな人脈ができたことも収穫でした。

修了後は元の臨床現場に戻って6年勤めた後、お誘いを受けて教員になり、あっという間に1年が過ぎました。「教育は相互作用」と教わったので、上から教えるのではなく、学生と「お互いに学び合う」姿勢でいようと心がけています。現在、出産を取り巻く状況は大きく変化していて、ハイリスク出産や虐待の問題など、助産師のケアが必要とされる場面が増えているので、より良い助産師を育てるお手伝いができたらいいなと思っています。

■ 実習展開

1年次後期

独立助産実習

開業助産所において、妊産褥期を連続したプロセスとして捉え、身体の自然な力や個性を大切に助産ケアを学びます。開業助産師たちの実践をモデルとして、助産師の専門性や自律性について考察します。

2年次前期

助産教育(Classroom Teaching)実習

特定の助産実践科目を選択し、カリキュラムを構築。その中の履修科目を選び、教科の内容と実施計画を作成する過程を学修します。教授学習法演習で作成した授業計画案による授業(教育実習)を行います。

臨床助産教育(Clinical Teaching)実習

助産師教員による助産学習者の臨床指導に参加して、実習指導の現状を学修します。臨床指導事例の検討を通して、指導上の問題解決過程を学修します。

■ 年次教育計画 (2019年度実績)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	講義・演習 (助産・看護教育科目)				補講・試験期間	夏期休暇	講義・演習 (助産・看護教育科目)	独立助産実習 (6単位)	冬期休暇	講義・演習 (助産・看護教育科目)	補講・試験期間	年次末休暇
2年次	講義・演習 (助産・看護教育科目)			講義・演習	夏期休暇	学位記授与						学位記授与式



「助産学概論」でのグループワーク